

第3回 高校生との意見交換

～光の窓から日本の空を～



平成30年2月10日（土）13:30 開催

場所 光市議会本会議場



次 第

- 開会セレモニー
- 議会の仕組み等の説明・アイスブレイク
- 高校生の主張「光市のいいところ、悪いところ」
- 市役所見学
- 高校生と光市議会の意見交換
- 閉会セレモニー

1 高校生の主張

光高等学校

【発表】山本 駿斗 君



私は、今回の題目である「光市のいいところ、悪いところ」について、これまで考えていた二つについて意見を述べます。この二つは、良いところと悪いところがはっきり分かれるものではなく、両方が組み合わさっています。

まず、光の自然環境についてです。私が特に目に余っている点は、虹ヶ浜の海岸沿いのゴミ問題です。これは光市だけの問題ではありませんが、海岸に漂着したゴミ、観光で来た人の落としたゴミなど、いろいろあると思います。そのゴミは、海から吹いてくる強い風に乗って、市街や住宅地に侵入します。さらには、日本の名松100選にも選定されている程の素晴らしい海岸沿いの松林等に引っかかってしまうのです。毎年ある虹ヶ浜の花火大会の時には、職員の方々がゴミのポイ捨て防止のために、観客一人ひとりにゴミ袋を配ってくださいますが、花火大会が終われば、結構たくさんのゴミが落ちています。完全にポイ捨てを無くすことには時間がかかるかもしれませんが、年々減っているように感じるので、私たちが気付けば、進んで拾っていきたいと思います。また、光市はとにかく大自然にあふれており、非常に空気がきれい、という点がいいと思いました。私は、小学生になる前、一時的に福岡に住んでいました。福岡は、とても人口が多く、その分、車からの排気ガスも多いため、光市に帰ってきた時、一番に空気がきれいだと思いました。しかし、自然が豊かなこの辺りも、土砂災害の警戒区域に指定された所もあり、急傾斜地の崩壊が起こることが心配されています。このようなことが発生すると、私たちの命に危険が及ぶだけでなく、野生生物が減少し、生態系への影響も心配されます。実際に私の住んでいる地域で、数年前まで見ることができていた鳥が、いつの間にか姿を見せなくなっています。以上のことについても注意して、この豊かな自然環境を崩さぬよう自然を守りたいと考えています。

二つ目は、光市営バスについてです。私は、土日の部活帰りに光市営バスを利用させてもらっています。光市営バスは、料金 200 円でフリー乗降ができ、とても便利だと思います。しかし、一本逃がすと、次が来るまで約 2 時間待たなければならなくなります。私は高校に入学してから、一度だけバスを逃がしてしまい、2 時間歩いて帰ることになったことがありました。また、ここ光にも少子高齢社会の波は押し寄せており、乗っている途中たくさんの高齢の方々が乗り降りされます。高齢の方々の生活を支える交通機関としても考えると、さすがに本数が少ないのではないかと思います。

最後に、現在の日本は少子高齢化が進み、町の改善に協力することができる若い世代の人口が減っています。今必要なのは、私たちのような若い世代の人が、どれだけ志を持って協力するかということだと思います。光市をより一層良くするために、市民全員が協力し、市憲章にもあるように、光あふれる理想のまちづくりをしていきましょう。

○笹井議員

大和の方からの市営バスは 1 日 5 回 6 回あるバスなので、1 本逃すと 2 時間待ちということになります。市営バスは光市が経営しておりますので、税金を投入して運行しています。ですから、投入額を倍にすれば、バスの便数を倍にできないことは無いのですが、そのお金をどこから持ってくるかということになり、たいへん厳しい問題です。また、便数が増えても乗るお客さんがそれに応じて増えるとよいのですが、そうはいかないこともあります。あちこちの事例を見ますと、お金をかけずにバスの利用客を増やしていく取り組み等、バス会社も検討することがあります。私が視察で見にいった愛知県の知多半島の先にあるバスは、車中にアイドルの落書きがあるんです。その先でロケをしてミュージックビデオも作ったということで、マニアの方が名古屋からどンドン土日に乗りに来たというところもあります。これはお金が掛らずできることです。私も伊藤公記念公園でいろいろイベントをやった時にバスで来られる方がありましたが、そういうことをやって増やしていくというようなアプローチがよろしいんじゃないかと思います。イベントとか利用策のアイデアについては高校生の皆様でもいいアイデアを、市議会にメールするとか、ご相談いただければ検討いたしますので、ご提案をよろしくお願いします

○田中議員

光市の豊かな自然を誇りに思ってくれていることを聞いて、非常に嬉しく思いました。今、鳥が減ってきているというお話がありましたが、大和ということで、たぶん石城山の三光鳥のことでしょうか。一方で先ほど発表にありました土砂災害の危険とか日常の交通手段で高齢者の方が困っているのではないかという声もありました。他者を思いやる心が育っていることを聞いて議員として嬉しく思っています。そういった日常の中で感じていることも有ると思いますので、議会の方にもお話を聞かせていただいて、共に「光溢れる理想のまち」のまちづくりに努めていけたらと思いますのでよろしくお願いします。

○西村議員

こういったたくさんの方の前で発表するのはとっても難しいと思います。私も今たいへん緊張しておりますが、先程から発表を聞いて素晴らしいなと思うことが一点ありました。それは発表される山本さんの姿勢もよかったんですが、会場にいる皆さんがじっとその発

表者の方の顔を見て、聞いていらっしゃるといのにびっくりしました。うちの市議会もそういうことでなければいけないと思います。高校生らしい視点での発表で、とてもよかったです。ゴミの件は私どももたいへん心を痛めております。心無いと言いますか、ポイっと捨てるといのは当然控えないといけません、やはりできるだけそれを拾って歩きたい。そういう方が増えれば、このまちも綺麗になるんじゃないかなと思います。高校生の皆さんもゴミを拾う運動をされていますよね。私もまちで時々お見かけします。取り組んでない方にもゴミ拾いしましょう、と声をかけ、普段からできたら拾う。私も市役所から会社に帰るまでに、歩いて帰ることがあるんですが、その時は必ずゴミ袋を持って、缶の1つでも拾って帰るように心掛けています。それと自然環境の件で空気がたいへん綺麗ということですが、反面、空気がたいへん綺麗ということはたいへん田舎ということも言えると思います。もう1つアピールしていただきたいのは、光市は空気も美味しいのですが、水道の水もたいへん美味しいところです。後ほどペットボトルのお水をいただけるかもしれませんが、こんなに美味しい水道のお水というのは全国でもないものだから、「お水も美味しいよ」と言って一緒にアピールしてください。それと、市民の足、交通のことについてご提案がありました。バスの件は改善していきたいと思いますが、今は年配の方に合ったような新しい交通体系も提案していく必要があると私どもの議会でも考えております。それから最後に、市民の皆さんの協力という素晴らしい提案がありました、若い世代の皆さんがますます光市のために、隣人のために、「私が進んでやります」というような気持ちをお持ちになって取り組んでいただきたいと思います。まずは出会った方に「おはようございます」と「ただいま帰りました」というような挨拶の運動を各学校でいただきたいと思いました。初々しい皆さんの意見を聴いて、とても楽しくなりました。また、良い意見を議会に届けてください。どうぞよろしくお願いいたします。

光丘高等学校

【発表】 中本 秀和 君



私は現在、室積に住んでおり、光丘高校に通っています。幼い頃には光井・島田にも住んでいたこともあります。光市で暮らす中で島田人形浄瑠璃や早長秋祭りなどの光市の様々な伝統に触れることができました。その中でも、私が特に強い思い入れを持っているのは地元室積の「普賢まつり」です。普賢まつりは毎年5万人以上も訪れ賑わっています。私はこの祭りがこれからもずっと続いていくとともに、これまで以上に発展していったほしいと願っています。

普賢まつりは、江戸時代中期ごろから始まっており、その起源は、普賢寺の本尊を安置した性空上人の命日に、信者が参拝に訪れたことだと言われています。私自身はこの話を室積小学校の授業で伝えられました。同じようにして、室積に住む多くの人に語り継がれ、「ふげんさん」と呼び親しまれています。祭り当日は地元の小中学校は早く終わったりもします。200を超える露店が出され、多くの人で賑わい、私自身、今では転校や進学で会うことが数少なくなった友人と会うことのできる少ない機会でもあり、毎年楽しみにしています。また、中学一年生のときには露店のコーヒー店でお手伝いをさせていただいたことがあります。お店の方と親しくなり、その翌年からも祭りに行くたびにそのお店に立ち寄って話すようになりました。昨年はその方から、私の志望している消防士の方を紹介していただきました。その方に、消防士になるために必要な知識や体力の条件や、この仕事のやりがいなどを聞かさせていただき、より一層、消防士になりたいという意欲を高めることが出来ました。このよ

うに、普賢まつりは人と人との繋がりを広げていく機会にもなるすばらしいイベントだと思うのです。

この普賢まつりは光市民なら誰もが知っているでしょう。しかし、他の自治体に住んでいる友人の中には、そもそも「聞いたことがない」という人もいるし、知っていても「どこでやっているのかわからない」という人、「駅から祭りまでの移動手段が少ない」という人もいました。これらの問題点を解決していくことで、より多くの人々が祭りを訪れることが可能になり、今まで以上に活力のあふれた祭りにできるのではないのでしょうか。また、普賢まつりに来ることで、光市自体に関心を持ってもらうことにもつながると思います。では、どうすればより多くの人に普賢まつりに来てもらえるか、私なりに考えたことを提案したいと思います。

まず、認知度を上げるために、①SNSを利用した発信、②他の自治体でのポスター、ちらしの掲示を提案します。①について、近年の日本では、多くの人々がSNSを利用しています。このことから、広く人に知ってもらえると考えたからです。他県でフェイスブックを利用した行事の発信がされているのを見つけました。光市でもこうした宣伝に取り組んでみてはどうでしょうか。ツイッターでは発信した情報を他のユーザーが拡散でき、より宣伝効果が高いと思われるので、使ってみてはどうでしょうか。②について、街角に貼ってあるポスターは、毎日同じ道を通る人の目に何度も触れ、認知度を上げることが出来ると考えました。これなら、SNSを利用していない人にも知っていただけるので、効果は大きいと思います。

次に、駅からの移動手段についてです。下松市のある祭りでは、現地までを無料バスで送り届けてくれるサービスがあります。これを普賢まつりでも実施することで、今まで移動方法がなかった人たちも来るようになるのではないかと考えました。

また、これらの方策は他の祭りなどでも活用することができます。こうすることで、光市が今まで以上に活性化し、よりよくなっていくのではないのでしょうか。

普賢まつりは私の幼いころから多くのことを与えてくれました。今はまだ祭りに参加する立場ですが、将来も光市に暮らしていきたいので、いずれこの祭りを守っていく立場になると思います。だから、まずは自分にもできる方法でこの素晴らしい祭りを発信していこうと思います。少しのことかもしれませんが、光市をよりよくしていこうとする人が増えることで、市全体がよくなっていくのではないのでしょうか。

○森重議員

常日頃、普通に生活している中で、普賢祭りを通して、率直な「まち」に対するご意見をいただいたと思います。今言われたことは「まちづくり」においての一番の原点であると感じました。また、光市の未来、これからのまちを担っていくという思いを感じる事ができ、うれしく思います。まず、常日頃の生活の中で、こうすればいいなと思うことを疑問に思い、課題は何なのかという事を深めていって、こういうことをすればどうだろうかというのが、まちをつくっていくうえでの基本的なサイクルではないかと思いました。長い間、議員として活動していると、そういう大事な原点を忘れてしまっているのではないかと思ったりして、大変ありがたい主張でした。

○磯部副議長

昔は、普賢祭りの時は家族や親せき一同が集まり、祭りを盛り上げていました。これを契機に、若い人の発想や力で、友だちが集まるとか皆を呼ぶとか、祭りだから帰っておいで

とか呼びかけて、各地域に残る祭りを末永く守っていただきたいと思います。私たちも頑張ってPRしていきたいと思います。

○笹井議員

昔に比べて普賢祭りの時の、バスの臨時便が少なくなりました。代わりに自家用車で来る家族が増えて、駐車場が足りない状況になっており、なんとか確保していく必要があると思います。今、地元の室小、室中、附小、附中は早く終わって普賢祭りに参加できますが、市内を見渡すと、半ドンにならない学校もあります。私としては、江戸時代からある古い文化に触れ、勉強する場だと思っていますので、できるだけ多くの小中学校、高校も地元の行事に参加しやすくなる環境づくりを考えていきたいと思います。

○畠堀議員

今後の光市に対する素晴らしいご意見をご発表いただき、本当にありがとうございました。大変参考になりましたし、これから光市の中心的な立場になる皆さんが光市のことを考えていただいていることに、大きな期待を持ちました。

中本さんは、幼いころから光井、島田、そして現在お住いの室積での生活を通じて、各地区の祭りや伝統行事、とりわけ「普賢まつり」についての経験、思いをご紹介いただきました。私も、日本のお祭りには大変、興味があり、お祭りと聞くと足が向いてしまいます。お祭りには自然と人が集ります。まさに、集めるのではなく、集まってくる、お祭りにはその名不思議な魅力があります。中本さんが、「普賢まつり」での多くの人との触れ合う中で、ご自身の将来の夢に対する強い思いを持たれましたが、素晴らしい体験を得ることのできた「普賢まつり」さらに多くの方に知っていただき、さらに多くの方が集まることで、お祭りが、そして地域、まちの活気につながるのではないかと熱い思いを伺うことができました。

具体的にご提言としては、普賢まつりをより多くの方に知ってもらうための、SNSの活用、光市外でのPR活動、さらには駅からの交通手段の確保について、貴重なご意見を伺うことができました。このことは、祭りの充実のみではなく、日常生活においても、情報共有、市内公共交通確保など、今後のまちづくりの柔なテーマです。これらの現在の光市の状況を少しご紹介しますと、光市のホームページや、光市のイベントや情報発信動画を配信する「光チャンネル」、この光チャンネルはYoutubeにも開設されています。また、光市観光協会では、ホームページの「ツアーガイドひかり」や観光ガイドブックでも市の様々なイベントが紹介されています。

また教育委員会では、「第二騎兵隊史跡めぐり」のリーフレットを作成し、市内各地に残る第二騎兵隊ゆかりの地をしるしたマップが作成されています。また、伊藤公資料館では、伊藤公に関する各種の企画展が行われています。市内交通に関しては、昨年3月に「光市地域公共交通網形成計画」を策定し、交通結節点であるJR駅と各地域を結ぶ公共交通機関の在り方に関する考え方の方向性を示しており、今後は本計画を基本に具体的に取り組んでいくこととなります。こうした光市の取り組みは、中本さんのご意見と同じ方向にあります。中本さんをはじめ、高校生の皆さんにも、自信をもって、光市のまちづくりについて、自信をもって発信していただきたいと思います。

18歳から選挙権年齢が拡大していますが、高校生の皆様にも、まずは、身近なまちづくりに関心を持っていただき、いろいろな活動に参画いただき、その中から、市議会議員、市

長を目指して、いただければ、さらに良い光市の実現ができるのではないかと思います。皆様の今後のご活躍を大いに期待して、ご提言へのお礼のコメントとさせていただきます。

聖光高等学校

【発表】濱松 智也 君



現在、光市の人口は約5万1,800人です。この10年で世帯数は400以上増加しており、一見良いことのように思います。しかしその反対に、総人口は2,600人も減少しています。これは、一世帯あたりの人数が減っているということです。光市が公表している、平成27年度時点での年齢別人口分布を見ると、0歳児～19歳までの未成年が約8,600人、20歳～64歳までの現役世代が約2万5,400人、65歳以上の高齢者が約1万7,300人となっています。現状では、経済活動をする現役世代2万5,400人が自分たちより多い未成年や高齢者2万5,900人を支えるという構図になっています。現役世代が少ない原因としては、進学や就職を決める際に県外へと出る若者が多く、地元で定住しないことがあります。光市を経済面や人材面で活性化するためには、現役世代が住みたいと思うような魅力ある市へと発展させていかなくてはなりません。

光市の魅力は、子育てに適した環境が整っているというところです。全国的にも減少傾向にある産婦人科ですが、光市には二つの産婦人科があり、医院を選べる環境です。他の市からも来院者がおり、光市の強みとなっています。また、二つの大規模な総合病院があることも、市民の安心につながっています。市立光総合病院は移転計画が実施されており、より優れた医療設備が準備されています。光中央病院では、最新の設備のある健診センターが病気の早期発見を訴え、市民の健康維持に良い影響を与えています。さらに、保育所や幼稚園が充実していることも魅力です。光市はおっぴい都市宣言をしており、「胸でしっかりと子どもを抱きしめ愛しむ、ふれあいの子育て」を掲げ、子ども・子育て支援を推進しています。現在は共働き世帯も増えており、保育の必要性が増しています。その中で、待機児童0を達成した光市では、現役世代が安心して定住できる環境が整っています。

では、なぜこのように環境整備に努めているのに、人口が減少するのでしょうか。それには二点の問題があると思われます。企業をはじめとした就業場所が乏しいことと、都市に比べて交通網の整備が十分ではないことが挙げられます。就業場所の確保は、現役世代にとっては重大な問題です。地元に残って働くことができれば、生まれ育った場所で生きたいと考える人もいます。若者の起業の支援をすることや、誘致を積極的に行ってほしいと思います。交通面では、光市営バス、JRバス、防長バス、ひかりぐるりんバスなどがいたる所を巡り、市民の足となっています。しかし、地域によっては本数が少なく、利用しにくい場面もあります。その補助として、レンタルサイクルの導入を考えました。光市には、国立公園を始めとして、レジャー施設や郷土館、記念館、海岸、カフェなど観光資源が豊富にあります。それらの観光地周辺に、短い間隔でレンタルサイクルの駅を設置します。ゆっくりと散策することで各所に立ち寄りやすくなり、光市の魅力を肌で感じやすくなります。光市の良いところを実際に目にすることで、住みたいと思う人たちも出てくるのではないのでしょうか。

光市は全国トップクラスの日照時間と温暖な気候に恵まれ、自然災害も少なく、よい自然環境です。市の誇る虹ヶ浜海岸と室積海岸は「日本の白砂青松 100選」「日本の水浴場 88選」にも選ばれており、全国的な知名度もあります。冠山総合公園では子どもが遊べる遊具

を備えていたり、四季の花木を植え、それに伴ったイベントを開催し光市の良いところを積極的にアピールしています。風光明媚で制度の整った光市がより住みやすい場所になればよいと思います。

○田邊議員

人口定住問題について、自然環境の観点から光市のデータを調べての意見でした。若者の定住、仕事面など光市の弱い面と、光市が持っている自然環境など強い面などで私たちも、もっと頑張っていかななくてはならないと思いました。これからも皆さんと一緒に頑張っていきたいので、ぜひとも光市に定住してください。

○岸本議員

やはりこれから社会に出ていく皆さんにとって、一番心配なのは働くところだと思います。現実には地場産業などの振興に力を入れています。光市の現状とこれからの課題、取組み等、光市商工観光課が雇用問題を担当しておりますので、その文書を読まさせていただきます。「雇用は経済成長に直結するまちの重要なインフラであり、市民が豊かに安心して暮らすために不可欠な生活基盤でもあります。このため、良質な雇用を確保し、就業環境の充実・改善を図ることは、経済政策であると同時に、市民生活の根幹を守ることに他なりません。本市ではこれまで、ハローワーク等関係機関との連携のもと、雇用に関する相談窓口の充実や情報発信の強化をはじめ、離職者対策の実施など、雇用の確保と安定に努めてきました。また、平成27年12月に策定した“光市まち・ひと・しごと創生総合戦略”においては人口減少や地域活性化対策に資する地方創世の観点から、政策目標の一つに“産業振興と雇用の創出”を掲げ、雇用の確保や安定と併せて創業や新規事業へのチャレンジの支援などに重点的に取り組んでいます。また、これからの取組みとして雇用に関する相談や就労・雇用に関する情報提供を充実し、若者をはじめ、女性や高齢者、障害のある人に対する雇用の拡大を促進するとともに、関係機関や市内事務所等と連携して開催する“雇用の日メッセージフェア”を通じて地域経済における雇用の重要性を市民全体で共有するなど、雇用に対する市民の意識高揚を図ります。また、創業と新しいチャレンジへの支援ということで、“光市創業支援事業計画”に基づき、商工会議所や商工会、金融機関等関係機関との連携により創業支援体制の強化を図っています。」とこのように、行政も皆さんの雇用拡大のために力を入れていますので、安心して残りの高校生活、勉学を励んでいただきたいと思います。

○森戸議員　ご指摘のとおり、光市は核家族化が進行、高齢化率は31%を超え、若者の流失も続いています。光市の魅力について、子育て支援から病院、経済分野まで、適確に捉えておられました。光市の現状について、企業の支援では、商工観光課に平成28年から創業支援窓口を設置して、融資制度に創業資金を作りその結果29年度に2件の融資があり、2社が会社を興しました。企業の誘致にも力を入れており、ある一定の条件をクリアすれば補助金を支給する仕組みもあります。28年度では10件交付がありました。また、今一番問題なのは、下松・光管内の有効求人倍率です。昨年12月には1.49倍ということで、深刻な人出不足の状況です。市内には2,000社あるんですが、人材確保が一番重要ではないかと思います。そのために光市では、U I J ターンの雇用促進事業の補助制度を設置し、山口県が東京や大阪で開催する就職説明会に参加する地元の企業に、交通費と宿泊費の二

分の一を支給しています。新聞報道では、先日も市内の2社が大阪や東京にも参加しております。また、山口県は事業の後継者が不足している割合が日本の中で一番高く、どう引き継いでいくのが課題になっており、そういう取り組みを光市や商工会議所でやっています。交通網の充実については、交通網形成計画を忠実に進めていく取り組みを行っております。この計画の中のアンケートによると、最もよく利用する交通機関では、自家用車の利用が81%、自転車が6%、公共交通機関はわずか5%で、光市では次年度から公共交通機関の利用の呼びかけをすると聞いておりますので、ぜひ家族の皆さんに声かけをお願いします。また、レンタサイクル導入のお話もありましたが、観光資源という点を線で結んで、面を作り出すという、素晴らしいアイデアだと思います。山口県はサイクル県山口を掲げて、サイクルルートの開発や、空気入れや修理道具やトイレなどがあるサイクルエイドを設置しています。県内では道の駅など70カ所に設置されており、光市では里の厨が認定されています。これ以外にも、レンタサイクルの利用ができるサイクルステーションを8カ所ですが、県は設置しています。県のホームページによると、周南・下松・光のエリアはサイクリングのルートが非常少なく、ルートの開発から提案してみたいと思います。ご指摘のように光市には素晴らしい資源がありますので、私たちも積極的なPRに努めたいと思いますが、皆さんもスマホ等をお持ちでしょうから、フェイスブックやツイッターなどで情報の発信をお願いします。また今、柳井市や下松市では議員のなり手が少ないということで、無投票になるのではないかとと言われており、光市がそうならないよう頑張っていますが、皆さんもぜひ何年か後にはチャレンジしていただきたいと思います。一緒に頑張りましょう。

2 高校生と光市議会の意見交換 要点筆記



① 光丘高等学校 田村 優依 さん

◇虹ヶ浜海岸では、春の鯉のぼりや、夏のライトアップ等、インスタグラム映えする催しをしていますが、車で訪れる人が、海岸沿いに路上駐車をするので危険です。市のホームページで調べましたが、駐車場の場所がどこにあるかわからなかったため、ホームページに記事や写真を載せることで、駐車場にきちんと停める人が増え、危険や事故が減るのではないかと思います。

○司会（萬谷議員） 確かに280台駐車場がありますが、分かりにくいと思います。歩道に止めるのではなく、駐車場にきちんと止める意識が必要です。

○田中議員 虹ヶ浜は「インスタ映え」するということで、光丘高校の方に情報発信してもらい助かっています。駐車場の件ですが、昨年の花火大会の時もわかりにくいという意見があり、市の観光協会ですとまとめて情報発信をしています。今、改善しているところですが、来られる方にわかりやすいように取り組んでいきたいと思っています。

② 光丘高等学校 藤井 乃愛 さん

◇光市は祭りが多く、行事も充実していますが、祭の時のゴミのポイ捨てが気になっています。ゴミ箱の数が少なくゴミのポイ捨てを見たことがあるので、ゴミ箱の数を増やしてほしいです。

○土橋議員 いつもなら、我々はそちら側に座って執行部に質問をして、回答は執行部がしています。今日はその逆になっているので、少し戸惑っています。藤井さんの意見は、そのとおりであり、否定できません。よくわかりました。

○司会（萬谷議員） ゴミ箱ですが、家庭ごみを持ち込む人が結構おられ、難しい問題ではあります。綺麗な「まちづくり」という意味で私たち議員も考えてゆきたいと思っています。

○森戸議員 島田駅の近くに住んでいますが、以前、島田駅の構内のゴミ箱に家庭ごみを捨てるといので、JRが撤去しました。ゴミについてはモラルの啓発に努めていきたいと思っています。

○中本議員 ゴミ問題は全国的にあちこちで起きています。以前、花火大会の時ゴミが大量に出たことがあります。その時、いったんゴミ箱を撤去し、来られた方でゴミの持ち帰り運動をするというのをやったこともあります。難しい問題ではありますが、マナーの問題ですので、ゴミの持ち帰り運動を市民に広げながら、きれいなまちにしていくのが大事なことだと思います。この問題についても、これからしっかり取り組んでいきたいと思っています。

③ 光高等学校 河郷 利光 君

◇光には遊ぶところが全然ありません。遊びに行くとなったら広島とか福岡に行くんですけど

ど、福岡が遠いのに行くっていうのは、よっぽど山口に何も無いってことじゃないですか。だから、もう少し観光とかだけじゃなくて、遊ぶところを増やしてほしいと思います。

○田邊議員 たいへん貴重な意見ありがとうございます。河郷さんが言われたように、こういったものは若者の意見が本当に重要とされますので、河郷さんがまとめて、私たち市議会の方にぜひともお教えてください。今の若者がどういった遊びをするのかということが、なかなかわかりません。お教えいただいたら、今後、より若者も楽しめるまちになるんじゃないかと思うので、皆さんにも協力していただきたいと思います。それを生かして活性化できればと思っております。私も一緒にいろいろ遊びたいです。

○西村議員 河郷さんは具体的にどんな遊ぶ場所が欲しいのでしょうか。例えば彼女とデートするのに夕日が見えるテラスの付いたカフェですとか、友達と気楽に行けるカラオケボックスとか、具体的にどんなものでしょうか。うちの子は「ラウンド・ワン」に行きたいとよく言うんですよ。その遊ぶところというのがどんなものか教えてもらえませんか。

◇光高等学校 河郷 利光 君 服を買うとことか、買い物ができるでっかいとことかが欲しいですね。ここらへんだったら下松の「モール」とかしか無いじゃないですか。よっぽどなんかないとあの辺へ行かないのですが、こう言ったらなんなんですよけど規模が小さくいので、でっかいのをいろいろ何個も建てて欲しいですね。

○西村議員 わかりました。ちなみに私たちが遊びに行くところというのは、芝生の生えた旗が立った穴のあいているゴルフ場なんですけど、最近はそういう道具とか洋服もインターネットでよく買うんです。私は今、55歳なんですけど、最近はお店でという感じじゃない。具体的にどんな洋服か、いろいろあるじゃないですか。革のつなぎの洋服とか、また、そんなのを教えてください。それで、教えてもらったらそういうお店をたくさん誘致するように努力します。

○田邊議員 皆様にお聞きしたいんですけど、アウトレットモールなんか近くにあったらいいと思う人、手を挙げてもらいたいんですけど。(会場から拍手あり。) 皆さんアウトレットモールみたいなのが欲しいわけですね。はい、頑張ります。

○司会(萬谷議員) はい、ありがとうございました。アウトレットモールも欲しいっていうことですね。やはり広島、福岡というところとプロ野球球団もあるし、サッカーのプロもあり、人がどうしても集まるので、そちらのほうでいっぱいお店ができる傾向がどうしてもあるんですけど、ぜひ山口にも「レノファ」がありますので、皆さんもそれを盛り上げて、たくさん山口県に人が住んでいただければ、たくさん店も出てくるというような傾向になると思います。それを含めて頑張っていければなと思っております。

④ 光高等学校 長岡 阿衣璃 さん

◇女子高生の中で最近カフェ巡りが、すごく流行っていて、今、光市にカフェがたくさんできてくると思うんですけど、インスタ映えの食べ物だったりとか、そういうものがたくさんあって、そういう話題を学校でよくしています。それで、今、光市と下松市と周南市で、

ラーメンのお店があるじゃないですか。ラーメンのお店に行ってそこでラーメンを食べたらスタンプ、シールがもらえてシールが貯まれば、ラーメン1杯無料になるとか、そういうのがあって自分は回っています。実際に、光市にカフェがいっぱいあるってことを利用して、女子高生とかそういうのが好きなので、光市の中でスタンプラリーじゃないけど、そういうことをすれば、みんなも積極的に外に出るようになるし、地域も活性化されます。それで、食べ物とかそういう場所をSNSにたぶんみんな載せるので、載せることによって、光市以外の周りの人が見て、行きたいなと思ってもらい、また、活性化すると思うので、そういう取り組みをしたらいんじゃないかなと思います。

○笹井議員 私も実は仕事で焼きそば屋と雑炊屋を光でやっております。光市の店の特徴として、街中のストリートみたいなのはあまり無いんですけども、古い町並みの中とか、あるいは山の中に「猫カフェ」があったりとか、あるいは海の見えるところに喫茶店があったりとか、いうのは意外に多いんです。実は光市の飲食業組合というのがありまして、そこが光市のお食事処というマップを2年に1回ですけど作っております。初めて見られる方も多いと思いますけど実は市役所の玄関にもこれを置いてありますので、ぜひこういうのを見て使っていただければと思いますし、いいところがあったら高校生の皆さんでもツイッターとかインスタグラム等で情報発信できますので、やっていただければと思います。それで、スタンプラリーみたいなものは室積地区独自でやったことはあるんですけど、光市全体でというのはここ近年ありませんが、今のご提言はなんとか取り組んでいってみたいと思います。

○磯部副議長 今、高校生、若い人たちがインスタ映えするカフェ巡りをしていますが、私たちの年代も、やはり若い時を思い出しながら、ロケーションのいいそういうカフェ巡りとか、おいしいものを食べに行こうとかいうのがね、けっこう流行っているというか、楽しみを持てる年代にもなったんですね。そういう意味で今光市内では、若い女性からお年を召された女性の方があらためてカフェをオープンされている方っていうのがけっこういらっしゃるんですね。そういうことをPRする意味においても、光市内のどういうところにどんなお店があるのかというのを全市的な面でPRできるそんな手法も、フェイスブックだけじゃなくて、「いいね」ボタン押すと、いくつ以上押すとなんかあるとかそういう楽しみ方も少し考えていきたいなと思いますが、特にどういうふうなアイデアがあるか、あれば教えてください。

◇光高等学校 長岡 阿衣璃さん 例えば、どういう取り組みをしたらいいか、みたいな感じですか。

○磯部副議長 長岡さんはすごく積極性のあるいろいろ話も聞いたことがあるので、今の高校生とかはどういうふうなことを目的にどういうふうにしたらいいと思っているのかなと思いました。私たちはフェイスブックとかラインの「友達」なんかに写真を撮って投稿とかするんですけど、特に光市の女性が頑張っているお店、昔ながらのそういうお店もあるじゃないですか。ぜひ光市に来て欲しいというので、そういうフェイスブックのご案内っていうのはしております。なかなか顔が見えるところのアップは難しいと思うんですが、お店とか了解を得てですね、そういうサークル的なところを盛り上げていけたらいいなと

思っています。また、後ほど高校生のアイデアをいただけたらと思っておりますので、よろしくお願ひします。

○土橋議員 私、今、74歳なんです。10代のころ喫茶店に入ると「不良」だと、こういう時代だったんですよね。だから今のは、すごいなあと思ひながらも聞いていたんですけども、1つだけ教えてもらいたひのは、私、高校生に友達いませんので、高校生ってひのは1か月にどのくらいお小遣ひを貰っているんだろうかというのをちょっと司会の方に訊いてもらおうと思ひますので、よろしくお願ひします。

○司会（萬谷議員） 個人的に聞くんではなくって、線を引こうと思ひたんですけど、僕らはやっぱり正直な話、高校生の時は3,000円くらいでしたよね。ちょっと少なかつたかなあ。じゃあ、自分の自由になるお小遣ひを5,000円以上、手を挙げてください。じゃあ5,000円以下ですよね。10,000円でも15,000円でも20,000円でも5,000円以上に該当するので、じゃあ3,000円以上。はい、じゃあ1,000円以上。はい、じゃあじゃあ、貰ってないというかた。素晴らしい、ということはその都度ラーメンを食べに行くのでお小遣ひちょうだいという感じでいいんですかね。ラーメン店のスタンプラリーは僕も知っていますけれども、やっぱり飲食店というひのは、店主同士がライバルだと思ひているところがありまして、ひとまとめにするというひのは難しいんです。だからそのへんは誰かがしっかりまとめてスタンプラリーをして、そして1杯どこに行ってもタダだという感じでしてもらえば、カフェであれば、たしかに女子高校生やちょっと上のお姉さんたちが宣伝してくれるかなというふうには思ひます。

⑤ 光丘高等学校 山本 妃奈乃 さん

◇ゴミ箱についての問題です。光駅の改札に入る前のゴミ箱はアイス専用とペットボトル、缶専用のゴミ箱しかありません。学校の帰道にセブンイレブンに寄って食べながら帰るんですが、その時に燃えるごみと燃えないゴミ箱がないのでそれを設置したら良いと思ひます。

○西村議員 光駅は早晚、「橋上化」ということで建て替えを計画しています。そのあかつきには、ずらっとゴミ箱の種類を揃えたゴミ箱を置かしていただきます。楽しみに待っていてください。

○森重議員 危険物に対する取り扱ひ、または、人が多い所でゴミによる火災の恐れ等のため、全国どこの駅もゴミ箱が撤去され、不自由な感じはしますが、そういう理由での取り締まりというひのもあります。自分のゴミは自分で持ち帰るというマナーのもとに公共の場を綺麗にしていこうと思ひます。テロとか、爆発物をゴミ箱に置く事例もたくさんあり、そういう事も認識していただきたいと思ひます。

⑥ 聖光高等学校 濱松 智也 君

◇よくトレーニングジムを利用するのですが、スポーツ交流村しかなく、平日の夕方は仕事帰りの人が多いので、器具が使えません。光市が運営するジムがあれば良いと思ひます。

○森戸議員 総合体育館は利用されていますか。

◇聖光高等学校 濱松 智也 君 総合体育館は器具が揃っていないので、もう少し充実したらいいと思います。

○森戸議員 どんな器具があったらいいですか。

◇聖光高等学校 濱松 智也 君 筋トレにもいろいろありますが、胸や肩、足、腕、腹筋などを鍛える、部位によって3種目ぐらいは用意してもらいたいと思います。

○森戸議員 大和の体育館にもあるようですが、今どんな器具があるかも含めて確認したいと思います。もっと体が鍛えられるよう、器具を検討したいと思います。

⑦ 聖光高等学校 内田 大陸 君

◇この辺りでは、サッカーとかできる広い施設がスポーツ公園しかありません。私は光駅周辺に住んでいて、遠いので行く気がなくなります。難しいですが、広い施設を光駅周辺に造ってもらえたら、市外からも来る人がいると思います。

○大田議員 スポーツ公園のほかに、大和スポーツセンターのグラウンドでも練習している人がいます。夜間照明もあり、夜も9時まで練習しています。今は、使えないかもしれませんが、学校のグラウンドも開放しているところがあり、そういうところも利用できると思います。

○西村議員 市立病院の移転がありますが、かねてから、その周辺にサッカー場、フットサル場、グラウンドゴルフ場を造ってほしいと要望しています。一緒に要望書を書いて出しましょう。

⑧ 光高等学校 島元 陽弘 君

◇18歳から選挙ができるようになるんですけど、僕たちだったらこれが初めての選挙になるから、何を考えて投票したらいいとかを、僕たちの先輩である議員の皆さんたちに聞きたいんですが、何がありますか。

○木村議長 お答えになるかわかりませんが、その人が選挙に出る時には、どうしても政策というものを前面に出します。政策というか、このまちをどうしたいという考え方を持っていますので、その考え方をしっかり伝えることと、それを見て投票していただくことが大事かなと思いますけど、それでお答えになりますか。

○中本議員 2月4日に県知事選挙がありました。それで、今日、ちょっとこんなものを持ってきました。選挙に立候補する方がマニフェストを、県知事になったら何をするんだとどういうまちづくり、あるいは国会議員は国民のために何をするんだとか、市議員はそれぞれ自分たちの市の問題点を提起しながら、こういう思いで市議員になったんだというのを出しています。こういうマニフェストを見たことがありますか。今回の選挙で、

ある方、ちょっと挙手。ああ一人ですね。いろんな選挙の時は必ずこういうものが出て来ますので、ぜひこれを見て皆さん方の思いと一致するまちづくり、そういうもので選択し、投票する権利があります。そういうものを見ながら、投票して力を託そうと思っておりますので、今後ぜひこういうものに注目していただいたら、よくわかると思います。3年生で今回投票された方。2人、3人、はい、ぜひ揃ってみんなで投票しましょう。よろしく願いいたします。

○司会（萬谷議員） ありがとうございます。現役の高校生でも18歳になりましたら選挙権がございますので、ぜひああいうパンフレットとかリーフレットとかを見ていろんなことを考えてもらえればと思います。表向きに書いているのはだいたいみんな同じです。安心安全なまちづくりと言ったって、不安全なまちづくりなんて言っている人は絶対いませんので、基本的には細かいところにいる自分の思いを書いている人がたくさんいますので、そこまで読んでいただければと思います。

⑨ 光高等学校 河郷 利光 君

◇学校に行きながら、仕事もしているんですけど、今の仕事の給料が朝8時から5時まで働いて6,000円ぐらいなんです。社長とかに上げてくれって言ったら怒られると思うんですが、市の方で上げないとまずいみたいな環境を作って欲しいですね。

○田邊議員 仕事をしながら勉学に励んでいるということで、たいへんですね。仕事をするのに、そこでいろいろな労働の問題を取り上げてもらって、そういった問題を解決する労働基準監督署という場所があるんです。そういったところでまず雇い手の問題を解決して、あとは仕事をしていく上で、徐々に徐々に経験を積んで、そんなふうにもっと河郷君の下にくる人を豊かにするような考え方で、今は苦労しているかもしれないですけど、もっとそういった目で見て頑張ってもらいたいと思います。頑張ってください。

○笹井議員 最低賃金というのは国が定めており、山口県は777円ですから、それより安いことはないと思います。ただ、そこから先はその人が働くことで、どれだけそのお店とか工場に利益が出るか。また、利益が出れば従業員の皆さんに還元されるということですから、働くのにスキルを磨いて組織、会社、自営業で、利益を出せるような、そういう能力をこれから積んでいただきたいと思います。私も食べ物屋をやっていますが、他所の店より美味しいから来てもらえるんだと思っていますし、工場なら他所より性能のいいものが作れると思ってやっているのではないのでしょうか。皆さんは16、17、18歳だからまだスキルが無いと思いますが、これから20、30歳になるにあたって、他所よりももっとできるんだという腕を磨いていただけたら、そういう能力と利益に応じて、給料というものは増えていく。世の中というのはそうなっていると思いますので、頑張ってください。

○司会（萬谷議員） 河郷君は光市からそういう雰囲気をつくってくれと言うんですが、なかなか難しいかもしれません。まず自分のスキルを磨いて、徐々に最低賃金も上がっていますし、職種によって賃金が高い安いもいろいろ設定されていますので、その辺もしっかり頭に入れて頑張りたいと思います。今の時点ではそれしか言えないのですが、どうぞよろしく願います。それでは、ここでの意見交換会は終わらせていただきます。

3 傍聴者アンケート集計

(1) 今回の意見交換会の感想、意見等をお聞かせ下さい。

- ・意見交換会は毎年実施するべき。ただし、11月あたりで予定し、全学年より参加できる環境が必要。出席者21名全員が発言できる時間割を考えるべきだと思います。
- ・アイデアディスカッションは、どこでも行われていますが、その結果はどれだけ実現しているのでしょうか。ディスカッションだけが行われ、具体的な結果につながらなければ、良質なアイデアは徐々になくなります。小さくても実現したことを目に見える形（時代を考えるとスマホで見ることができればいいですね）で公表し、よりアイデアが出やすい環境ができるよう期待しています。
- ・各高校7名ずつ来ているので、主張は各1名ではなく、もう少し増やしてもいいと思います。きっと良い意見が出てくると思います。
- ・高校生だからこそその着眼点からの意見・提言が新鮮であり、こうした機会の定期的な開催の意義はあると感じました。聖光高校の主張は、問題点・原因・対策がきちんと組み立てられており、素晴らしかった。
- ・議員によって答えの内容が違っていた。高校生は迷うかな。
- ・高校生の主張、市議会議員の講評では今一步。高校生、行政、市民、議員と分かれて、模擬市議会を開催しては。テーマは高校生の投票率をUPするため。
- ・夏フェスの会場のゴミ捨て場には、専属で係員が付いています。ゴミ捨てに長い行列ができ、皆、分別して捨てています。会場にはゴミはほとんど落ちていません。花火大会などでも検討してみてもいいと思います。
- ・高校生の質問は自分の思いを述べられて、とても良かったと思います。若者たちの生まれた場所を愛する思いが出ていた。自分の姿を光市の地に重ね合わせて、自分の頭で考え、自分の言葉で発表したことは、光市の礎を作ることになると思います。
- ・光市議会の開かれた議会の姿勢を感じた。高校生の新鮮な意見を聞いた。参考になった下松市議会議員も傍聴に来ていた。他市からも関心を持たれるような新しい市議会の取り組みに期待しています。

4 高校生アンケート集計

(回答21 回収率100%)

(1) 市議会の役割や活動は理解できましたか。

- ・理解できた(10) ・ある程度理解できた(10)
- ・あまり理解できなかった(1) ・理解できなかった(0)

(2) 今まで市議会に関心はありましたか。

- ・あった(4) ・少しあった(6) ・なかった(11)

(3) 今日、参加して市議会に関心を持つことはできましたか。

- ・持てた(11) ・少し持てた(9) ・持てなかった(1)

(4) 今回のような意見交換会を開催することについて、どう思いますか。

- ・積極的にやるべき(17) ・必要性を感じない(3) ・わからない(1)

(5) ズバリ、市議会議員をはじめとする政治家になりたいと思いますか。

- ・なりたいと思った(2) ・特になりたくはない(12) ・わからない(7)

(6) 今回の意見交換会の感想、意見等をお聞かせ下さい。

- ・2年続けて参加しました。楽しかったです。
- ・今までどのように市の方針が決まるのか分からなかったけど、今回それが分かって良かったです。
- ・市について発言する機会が今までなかったので、とても良い経験になりました。1回ではなく何回か参加したいと思いました。
- ・光市には自然の魅力がたくさんあるので、ツアーなどを企画して、たくさんの人に自然の魅力を知ってもらいたい。
- ・日頃、議員の方と関わることがないので、とてもいい経験になりました。
- ・自分の意見を伝えることができよかったです。意見に取り組んでいただけるか分らないが、とても期待を持てた。光市が発展していくことを願います。

- ・発表はとても緊張しましたが、とても良い機会になったと思います。
- ・どんな意見でも興味を持って聞いてくださって、本当に来て良かったです。
- ・わりと話しやすい感じが良かった。
- ・レンタサイクルの利用について関心を持ちました。普賢祭りは自動車の利用が多く渋滞が気になります。しかも駅から遠いので交通手段がバスしかありません。そこでレンタルサイクルが利用できれば、渋滞があっても様々な人が助かると思いました。
- ・私たちの質問に対して全部答えて下さったので、分かりやすく助かりました。レンタルサイクルを実際に採用して下さると本当に助かります。よろしくお願いします。
- ・議員の方たちは、もっと固いイメージがありましたが、今回は身近に感じられて安心しました。
- ・室積の景観は若者にとってもすごく良いものだと思います。お店を増やすなどして活性化してほしいです。
- ・今回、題目に対しての意見を述べさせていただきました。難しいとは思いますが、できるだけ反映していただきたいと思いました。
- ・駅周辺に重点的に様々な施設を設置してほしい。最近では徳山駅にスタバができたので、同じように有名な施設を作してほしい。議員との距離が縮まって良かったです。
- ・時間があれば、一般質問をKビジョンで見ようと思った。

